

(仮称)宇都宮市地域教育推進計画(第3次宇都宮市生涯学習推進計画)(素案)
 に関するパブリックコメントの結果について

1 パブリックコメントの実施状況

(1) 意見の募集期間

平成20年1月29日(火)～2月22日(金)

(2) 意見の応募者数と件数

応募者数：5名

【内訳】 男女内訳：男性 3名, 女性 2名

年代内訳：20代 1名, 30代 1名, 40代 2名, 50代 1名

意見数：11件

(3) 提出方法の内訳

	郵送	ファクシミリ	Eメール	持参	電話	計
人数	1	2	2			5

(4) 意見の概要と市の考え方

計画全体について(5件)

	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	生涯学習を通して育んだ知識や経験を,今度は地域で生かすという考え方は大変前向きでよい。	本計画の策定作業においては,計画策定懇談会からの意見などを参考にしながら,地域のつながりや文化,地元を誇りに思う心など,地域を大切に,地域ぐるみの教育や学習への取組を進めるといふ本市独自の方向性が導き出されました。
2	地域教育について初めての言葉で理解に苦しいところがあるが,計画策定の目的の中で,地域で学ぶとか,地域で育てる,地域をつくるという教育をしていくというところには,共感できる。	今後はこの方向性を明確にし,計画名称への「地域教育」の盛り込みや,この考えに基づく事業の実施など,特徴ある“うつのみや”の人づくりを目指してまいります。
3	地域のことは地域でというのは,以前からよく言われていると思いますが,実際に何を地域でやるのかというところは,自治会レベルではまだ不透明だと思う。 まず,子育てとか地域のことに出てくるということを地域で考えることが必要なのではないか。	子育てや地域のこと(行事など)に参加することなどを地域で考えることは,地域教育を進めるうえで大切なことであると考えます。 本計画では「 <u>子どもの育ちや地域社会を支える人づくり</u> 」(計画書 11 ページ)が基本的な課題であると捉えております。 基本理念や基本目標(計画書 13～16 ページ)を踏まえ,地域や地域の子どものために取り組めることなど,学びを通じた地域の人づくりを支援してまいります。

4	<p>地域教育という言葉が硬いイメージなので、もっとPRをしてほしい。</p>	<p>地域教育という言葉は、地域ぐるみで人づくりを考えていくということや、地域での教育活動を特定の人だけでなく幅広い活動として捉えていきたいという考えから、この表現を採用しております。</p> <p>計画策定後は、広報紙への掲載のほか、<u>生涯学習出前講座の実施</u>（計画書 35 ページ、事業番号 52）など、計画の積極的な周知・啓発に努めてまいります。</p> <p><u>施策 14・生涯学習の啓発・支援の充実</u>（計画書 35 ページ）において、地域教育の周知について盛り込みます。</p>
5	<p>人づくりについて、基本理念には、最後に「人づくり」を進めるとある。生涯学習と人づくりが結びつかなかったが、生涯学習の意義をよく読むと、なんとなくわかった気がする。</p> <p>自分たちが何か学ぶことや伝えることが、他の人に広がって、最終的に人づくりになるということか？</p>	<p><u>生涯学習の意義</u>（計画書 2 ページ）にあるように、学習活動により、個人が豊かになり、他の人と共に活動することで社会全体が豊かになるという生涯学習の考えは、人づくりを進めるうえで重要な考え方のひとつであると考えております。</p> <p><u>リーディングプロジェクト</u>（計画書 40 ページ）においても、前述のような考えを反映しております。</p>

施策の展開について（3件）

[基本施策 1：社会の変化に対応する社会教育の充実]

	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	<p>先日ラジオで日産自動車が子どもたちに対して「ものづくり講座」を行っているという耳にしたが、企業が地域や地域の子どもたちに対して行っている社会教育はたくさんあると思う。</p> <p>そのような情報を教育委員会で集めて、ホームページで紹介したり、企業主催の社会教育事業を網羅したガイドブックなどを作成したりして、市民に広く周知してもらえたらと期待している。</p>	<p>企業においても地域や子どもたちに対して多様な活動が行われており、その情報を広く伝えることが市民の活動を充実するためにも寄与するものと考えられます。</p> <p>本計画では、学校外の子どもの体験活動や学びに関する情報提供として、<u>うつのみや子ども情報センター</u>（計画書 21 ページ、事業番号 1）を位置づけ、情報誌やホームページにより情報提供を行っております。</p> <p>企業など民間事業者の情報についても、順次対象事業を拡大し、より活用しやすい情報提供に努めてまいります。</p>

[基本施策2：家庭・地域における教育活動への支援]

	意見の内容	意見に対する市の考え方
2	<p>子どもの家、宮っ子ステーションは、働いている親にはありがたいと思うが、学校単位だと学区の端のほうに住んでいる児童には利用しづらいのでは？</p> <p>郊外の学校は学区が広かったり、通学・帰宅時間を逃すと人通りもまばらで大人も怖い時もある。</p> <p>せめて、団地とか町内の公民館等でできないものか？</p>	<p>本市において進めている、子どもの家事業や宮っ子ステーション事業については、子どもたちの放課後の居場所を確保する意図から、子どもにとって安心安全な学校敷地内や学校付近の施設において実施しているものです。</p> <p>学校から離れた場所での活動については、<u>青少年の居場所づくり事業</u>（計画書 21 ページ、事業番号 4）や<u>社会教育関係団体等の活動支援事業</u>（計画書 30 ページ、事業番号 42）などにより、地域の方々の力による子どもの育成活動に対して支援をしております。</p>
3	<p>「商店街まるごと体験」の方針はいいと思うが、商店街が近くにある地区は限られていると思う。</p> <p>親の過干渉によるクレームを恐れる商店主が協力してくれないのでは？</p>	<p><u>商店街まるごと体験事業</u>（計画書 32 ページ、事業番号 3）については、より多くの子どもたちや事業者の参加を得られるよう、実施地区や対象者など、ご指摘のような課題を考慮しながら事業化しております。</p>

リーディングプロジェクト・重点事業について（2件）

	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	<p>1 身近な地域で活躍できる人材がそれほどたくさんいるのでしょうか？</p> <p>2 どのようなことを契機にして地域や学校に入っていけばいいのでしょうか？</p> <p>3 本当に生涯学習を通して学んだ人たちを受け入れる体制に今、地域や学校はなっているのでしょうか？</p> <p>是非、これらの疑問が払拭できる計画であってほしい。</p>	<p>マナビス（生涯学習情報提供システム）における講師登録者が約 300 人、街の先生の登録者が約 2,200 人いるほか、本市が平成 17 年に行った意識調査によると、学んだ成果を生かしたいという市民が 60% 近くおり、潜在的な活躍できる人材はたくさんいると考えております。</p> <p>本計画では、現在活動していない人が、新たに活動者となるようなきっかけづくりとして、<u>生涯学習コーディネーター養成事業</u>（計画書 34 ページ、事業番号 50）などの人材育成事業や、<u>人材かがやき支援事業</u>（計画書 34 ページ、事業番号 51）による交流機会を設けてまいります。</p> <p>また、学校では、既存の<u>街の先生</u>（計画書 31 ページ、事業番号 45）への登録や<u>魅力ある学校づくり地域協議会</u>や<u>宮っ子ステーション事業</u>、<u>地域スポーツクラブ</u>（計画書 31・32 ページ、事業番号 47・2・48）などの取組に対して、地域の方々の多数の参加・協力をいただきたいと考えております。</p> <p>総じて、ご指摘のような疑問に答えるものとして、本計画で示した「<u>地域教育かがやきプロジェクト</u>」（計画書 40 ページ）及び「『<u>学縁</u>』<u>ひろば推進プロジェクト</u>」（計画書 41 ページ）のリーディングプロジェクトを推進してまいります。</p>

2	<p>重点事業やそのほかの事業にはたくさんの新規のものがあ、り、市役所の意気込みが感じられる。</p> <p>私たち市民も参加していけるものがあると思うが、どんなものが参加できるのか。そういうところはわかりにくいので、知らずに過ぎてしまうこともあると思う。</p> <p>やるときには情報をどんどん出してほしい。</p>	<p>市民の皆さまに各種事業への参加いただくことは、地域教育を進めるうえでも非常に心強いものと感じております。</p> <p>ご意見をいただいたように、各種事業の周知については、より適切な時期・手段により、わかりやすい情報の提供に努めてまいります。</p>
---	--	--

計画の推進について（1件）

	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	<p>まちづくりは人づくりという言葉があるが、人づくりは計画して出来上がるということではないと思うので、根気よく進めてほしい。</p>	<p>計画の推進にあたり、本計画の特徴である地域教育が根付くよう、多くの市民の参画をいただきながら事業に取り組むとともに、計上事業の適切な見直しを繰り返し、重点事業（計画書 40 ページ）など事業の定着化に努めます。</p>